



熱く盛り上がった運動会が終わりましたね。少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。夏の疲れを吹き飛ばして、2学期も頑張りましょう！

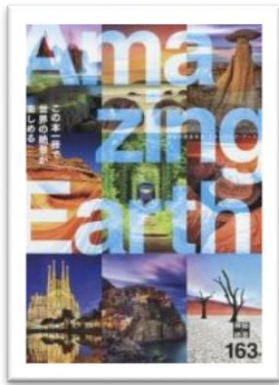


新着図書

書名	著者名	書名	著者名
むすびつき	畠中 恵	1冊のノートが「あなたの言葉」を育てる	川上 徹也
宮繕かるかや怪異譚	小野 不由美	神秘の絶景写真：アメージング・アース	カニカバックス・ジャパン
宵物語	西尾 維新	最高の空港の歩き方	齋藤 成人
忍物語	西尾 維新	旅と雑貨とデザインと	森井 ユカ
悲痛伝	西尾 維新	るるぶ 沖縄・東京・北海道' 19	
悲惨伝	西尾 維新	まっぷる 沖縄・東京・北海道' 19	
朝ドラには働く女子の本音が詰まっている	矢部 万紀子		



2学期、2年生は修学旅行がありますね。毎年旅行前に『るるぶ』と『まっぷる』の旅雑誌を図書室に購入しています。今回は、旅行に関する他の書籍も購入しました。



『神秘の絶景写真 : Amazing Earth』

「Amazing America」「Amazing World」「Amazing Structure」

「Amazing City」「Amazing Ocean」「Amazing Japan」の6部門で構成されています。どの風景も個性的で美しく、建物には建てられた時代や歴史を感じ、雄大な景色には自然の中にあふれる生命の営みを感じることができます。まさにAmazing!の連続で、地球上には知らない世界がこんなにもあるんだな～と思わずにはいられません。実際に行くことはできなくても、この本からたくさんを知ることができます。



『旅と雑貨とデザインと センスがつながる暮らし方』 森井ユカ 著

著者が世界各国を旅して集めた雑貨や切手、料理の写真などとともに、それらにまつわるエピソードをつづっています。デザイン学校の講師である森井さんが「生きるためには何が必要か、そこから生まれるデザインはどんなものか」と問う中で、すてきなセンスとちょっとユニークな視点で集めた品々。旅のあり方や、お土産についての話も詳しく語られており、修学旅行に役立つことがあるかも！

皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？今年はず年に負けない暑さで、学校へ登校する以外、家の中から出てこれなかったのではないのでしょうか。日陰に避難しても吹くのは熱風。外に出たくありません。農場のハウス内は40度を記録していました。ニュースで話題になった名古屋の最高気温と同じくらいの温度です。

そんな暑い中、外へ出ると野良猫たちは涼しい場所を選んで、暑さを上手く避けているようでした。今月紹介するのは「猫はうれしかったことしか覚えていない」幻冬舎／石黒由紀子(著)です。なんてポジティブな生物なんだろう。背表紙の題を見た瞬間、やはり猫はすごいと思いました。猫は好きをおさえない、猫はたっぷり時間をかける、猫は自分で癒す、猫は上と下を作らない、猫は平和を保つ…。作者の飼い猫の「コウハイ」や友人の猫を元に彼らの特性をひも解きます。忙しい社会を生きる人間が猫に惹かれるのは、彼らの気ままさかもしれません。そういえば、猫ブームが来ていましたね。相手を気にせずマイペース。おいで！と言ってもこない。でも落ち込んだ日にはそばに居てくれる。そんな猫の存在を愛おしく感じます。猫っていいなあと再確認させられる一冊です。

ちなみに我が家の猫は暑いにもかかわらず風の通らないサウナのような部屋で寝ていました。動物の熱中症にも気を配らないといけませんね。なぜそんな所でくつろいでいたのやら。

(頼本)

読書コラムの「猫」つながりで・・・図書室にある猫に関連する本を紹介します。

『アートになった猫たち』

中右瑛 監修



アートになった猫たち ～今も昔も猫が好き～

猫の文房具に、猫のゲーム、猫ブログ。巷には猫グッズがあふれ、今、空前の猫ブームを迎えています。ストレスの多い現代社会において猫に癒やしを求める人が多いからなのだろうかと思いきや、二百年も前の江戸時代から「猫ブーム」はあったのでした。平安時代、猫は上流階級にペットとして大切に飼われていました。

そんな猫も、幕府が鼠対策のために放し飼いを奨励すると、人々にとって身近なものになり、庶民の暮らしに溶け込んでいきました。そこで、現代から幕末まで遡って、アートに登場する“猫”に注目してみると、近代絵画では竹久夢二、藤田嗣治、水野年方らが猫を描き、海外ではビアズリー、スタンランなど、猫好きな画家

たちが自らの作品に猫を取り入れています。

(本文より)

『そっとネコぼけ』

岩合光昭 著

・

『世界の猫カタログ』

佐藤弥生

監修

『世界から猫が消えたなら』

川村元気 著

・

『100万回生きたねこ』

佐野洋子 作/絵

『100万回生きたねこ』はとても有名な絵本です。有名＝題名はよく耳にしていたのに、読んだことがなかったので、これを機会に読んでみました。深いですね。大人である私が読んで感じるのと、子どもが感じるのと、高校生の皆さんが感じることは違うんだろうな～と思わせてくれる絵本でした。本校の図書室には絵本もたくさんあります。絵本は「小さな子どものためのもの」ではなく、懐かしい気持ちになったり、癒やしてくれたり、深く考えさせてくれたり、と年代を問わず楽しめる書籍だと思います。



図書室のカウンターに、旅行特集と一緒に猫に関する本も展示しています！

